

みんなで支える しんぶん配達・集金活動

ルート表でつなぐ配達体制

大阪・高槻支部上牧班

上牧班は高槻市の中
心部から少し離れた東
端にある、団塊の世代
が中心の班です。



天気の良い日はしんぶんタイム
も(上牧班ハイキング小組)

地域が広く、しんぶ
ん配達は37部を11人
で分担しています。班の
配達体制は、2人が交
代で支部からし
んぶんを受け取
って仕分けを
し、配達担当者
に届けます。配
達担当者が近く
の会員に届け、
さらに別の会
員、読者に…と
バトンのように
次つぎと渡して
いきます。1人
の配達は多くて
も4部程度、発
行日が土曜にな
り配達する人の
負担も減りました。「歩
いていける、近いとこ
ろに入れてもらう」こ
とにこだわり、新しく
会員や読者が増えた時
は近くの会員に依頼す
ることがあたりまえに
なっています。昨年10
月に増えた読者の配達
も新たに近くの会員に
頼み、配達者が1人増
えました。

「ルート表は配達担
当者みんなが持つてい
て、増減にもすぐ対応
でき心強いです」と班
長の永津松子さん。小
組の会員も含め、会費
は自主納入が定着して
きました。声を上る新
婦人の草の根の活動を
伝える新婦人しんぶん
を小組でも読んでおし
やべりすることが班を
元気にしています。

「ハイキングなど6小組
あり、3小組でしんぶ
んタイムが定着。12月
にはチラシを見てリメ
イク小組に入会があり
ました。声を上げる新
婦人の草の根の活動を
伝える新婦人しんぶん
を小組でも読んでおし
やべりすることが班を
元気にしています。

表など10人で毎月、班
委員会を開き、年1回
「配達・集金ごろう
さん会」をしています。
支部事務所にしんぶ
んを取りに行くのに、
市バスに無料で乗れる
敬老バスが欠かせませ
ん。「市長選挙で維新
市政を許さず、敬老バ
スを守る運動を続けて
きた成果」と話します。

班で相談することがカギ

広島・東広島支部高屋班



配達者へのプレゼント(高屋班)
手紙と絵手紙、ランチョンマッ
トの3点セット

東広島支部は4班あ
り、高屋班は一番大き
な班です。小組が14
あり、みんなが近所の知
り合いを気軽に誘い仲
間つくりが活発です。
しんぶん配達は郵送を
含め、74部を14人で手
分けしています。「し
んぶんを楽しみにして
いる人がいる」「情報
が早く届くようにした
いね」と、小組で渡す
のではなく、毎週、会
員・読者の手元に届く
ようにと努力してきま
した。

班委員会は、全小組
から1人以上参加して
毎月開催。「この人、手
作り小組に来てくれる
ことになったよ」「誰が
配達する?」「近くだか
ら私が配るよ」と、新
入会員や新読者がふえ
るとルート表を見なが
ら相談します。配達は、
「近くの人の配る」よう
にしています。知り合
いを会員に誘っている
ことごとくも配達・集
金のことを話し合っ
ていきます。

みんなの共通の認識に
なっていることが、配
達・集金のカギです。
昨年、「Wさんが夫
さんの介護で大変そ
う」とOさんから声が
あがりました。Wさん
はポストおろし3カ
所、16部を郵便局に届
け、12部の配達を受け
持っていました。急い
で改善しようと班の中
心メンバーで話し合
い、Oさんが「車で一
周するだけだから」と
ポストおろしや郵送分
を引き継ぎ、配達も分
担しWさんの配達は4
部に。「1人に負担が
集中しないようにしよ
うね」と改めて確認し
ました。

支部では2年ごとの
支部総会で、2部以上
配達している会員に絵
手紙とプレゼントを渡
しています(右)。日
ごろの感謝を伝えるた
めにも、「班で毎年、
配達・集金ごろうさん
会をしたいね」と相
談していきます。

【最終回】
老いた母と
向き合う
⑤ 西田かおり(仮名)

離れて暮らす姉に日々の
様子を報告しながら、介護
付有料老人ホームにいる母
の願いを聞いて冷静に対応
できているのは、同時期に
とりくむことになった「成
年後見人」の活動のおかげ
です。学んだことがいくつ
かあります。

第一に、通帳や自宅、また
自宅の物品も含めた財産管
理の仕方。心がけているの
はどんなに少額でも母に了
解を得てから支払うこと。
もちろん領収書を保存して
姉にも報告をすること。

第二に、母の入所をサポ
ートしている私の関連した
活動や提案も記録し、姉に
報告して了解してもらった。
施設にいる母からは多額
の支払いや借金の要求はあ
りませんが、ただ一つの生
きがいはい、お気に入りの化
粧品を使うことのようにし
た。「ちょっと高いかな?」
と思いますが、施設の方々
に「きれいだね」と言われる
とうれしそうです。その気
持ちは理解でき、前向きに
なるので、リクエストに応

えて購入し届けています。
心配が高じて母の自宅の
売却を提案する姉に、「財産
管理は、たとえ認知機能が
衰えていても、本人の判断
を大切に」「子どもや
親族でも勝手に不動産の売
却はできないようなもの」と
伝えることができました。
法律をもとにして伝えると
姉も納得してくれました。

家族や親族を自宅で介護
している知人の話を聞くと
「えらいな。それに比べて
私は…」と後ろめたい気持
ちになります。友人に私の
母が施設入所し、介護度が
改善したことなどを話すと、
「よかったわね。自宅
で介護できるわね」など、
軽い気持ちで言われたりし
ます。しかし、私は胸の中
で「慢性疾患をもつ私が、
一人暮らしで必死に生きて
いる。社会的な活動の中で
多くの人と交流し、支えら
れて元気で暮らしていられ
る。お母さんごめんね」と
独り言。

そんな私に、母はときお
り電話をかけてきて「元氣
でがんばってる?」「こんど
家に帰ってみたいいな。大丈
夫、ちゃんと施設には帰る
から」と言うなど、私の生
き方を支えてくれる思いが
伝わります。自分自身の未
来に向けて、今後どう準備
するのか。施設にいる母と
過ごす日々から考えていま
す。

母、姉、自分自身を尊重すること

おわり

談話

対米従属の石破政権、大軍拡・核抑止を 当然とする政治にストップを

新日本婦人の会事務局長 由比ヶ浜直子

石破政権は引き続き物価高騰に何ら対策をとらず、国民生活を苦しめ、がんや難病患者らが「命綱」とする高額療養費制度の負担限度額引き上げまで打ち出しています。

そんななか、衆院予算委員会の質疑(共産)で、石破首相は、2025年度予算案で

大幅増の軍事費(8兆7005億円)の一方、社会保障費や文教・科学費など暮らしの予算は物価上昇に追い付かず、実質マイナスとなっている事実を突きつけられると、「私どもはこれを軍拡だと全く思っていない」と言い放ちました。

防衛力を「安定的に維持」とした安保3文書の22年12月からさらに踏み込み、石破氏は2月7日の日米首脳会談の

共同声明で「27年度より後も抜本的に防衛力を強化していく」と約束したのです。23年から5年間で43兆円という空前の大軍拡は憲法を乱暴にじゅうりんするものですが、国会にもかけず勝手にさらなる大軍拡を米国の約束することなど、ぜったいに許されませ

ん。石破政権は2月18日、3月にニューヨーク国連本部で開かれる核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加見送りを発表。「核による拡大抑止は不可欠」と米国の核戦力に依存・強化する姿勢を表明し、日本被団協のノーベル賞受賞という核廃絶への流れを強める絶好の機会を放棄したのです。

戦後・被爆80年を経ても日米軍事同盟絶対の、石破政権による「大軍拡・核抑止」当然視、平和と暮らしを破壊する政治に、「平和の2署名」をはじめ広範な女性・市民の共同行動でストップをかけましょう。

2025年2月21日



石破政権は引き続き物価高騰に何ら対策をとらず、国民生活を苦しめ、がんや難病患者らが「命綱」とする高額療養費制度の負担限度額引き上げまで打ち出しています。

そんななか、衆院予算委員会の質疑(共産)で、石破首相は、2025年度予算案で

大幅増の軍事費(8兆7005億円)の一方、社会保障費や文教・科学費など暮らしの予算は物価上昇に追い付かず、実質マイナスとなっている事実を突きつけられると、「私どもはこれを軍拡だと全く思っていない」と言い放ちました。

防衛力を「安定的に維持」とした安保3文書の22年12月からさらに踏み込み、石破氏は2月7日の日米首脳会談の

共同声明で「27年度より後も抜本的に防衛力を強化していく」と約束したのです。23年から5年間で43兆円という空前の大軍拡は憲法を乱暴にじゅうりんするものですが、国会にもかけず勝手にさらなる大軍拡を米国の約束することなど、ぜったいに許されませ

ん。石破政権は2月18日、3月にニューヨーク国連本部で開かれる核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加見送りを発表。「核による拡大抑止は不可欠」と米国の核戦力に依存・強化する姿勢を表明し、日本被団協のノーベル賞受賞という核廃絶への流れを強める絶好の機会を放棄したのです。

戦後・被爆80年を経ても日米軍事同盟絶対の、石破政権による「大軍拡・核抑止」当然視、平和と暮らしを破壊する政治に、「平和の2署名」をはじめ広範な女性・市民の共同行動でストップをかけましょう。

2025年2月21日